

# りそな 経済フラッシュ

## (日銀金融政策決定会合)

◎注意事項をよくお読み下さい



### 〇概況

- ◆ 日銀は本日の決定会合で新型コロナ対応資金繰り特別プログラムについて期限を半年間延長するとともに、運用面の見直しを実施した。
- ◆ また、より効果的で持続的な金融緩和を実現するための点検を行うこととし、来年3月の金融政策決定会合を目的に各種政策を点検しその結果を公表するとした。

- ✓ 日銀は12月17-18日の金融政策決定会合で、新型コロナウイルス感染症への警戒が続くなかで、企業等の資金繰りには当面ストレスがかかり続ける情勢を踏まえ、以下のとおりの政策決定を行った。
- ✓ 長短金利操作、ETFおよびJ-REITの買入方針は現状維持。CP・社債等の増額買入れについて半年間延長、運用見直しを行った。

主な政策		声明文	結果
長短金利操作	短期金利	日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する	変更なし
	長期金利	10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債の買入れを行う。その際、金利は、経済・物価情勢等に応じて上下にある程度変動しうるものとする	
資産買入	ETF J-REIT	ETFおよびJ-REITについて、当面は、それぞれ年間約12兆円、年間約1,800億円に相当する残高増加ペースを上限に、積極的な買入れを行う（原則は6兆円、900億円）	変更なし
	CP 社債	CP・社債等の増額買入れの期限を半年間延長し、 <b>2021年9月末まで</b> とする。CP・社債等買入れについては、引き続き、合計約20兆円の残高を上限に買入れを実施するが、このうち、追加買入枠については、 <b>CP等と社債等の合計で15兆円</b> とし、市場の状況に応じて、それぞれに配分することとする。	期限延長 追加買入枠の運用見直し

- ✓ CP・社債の追加買入れ枠については従前はCP等、社債等それぞれに7.5兆円としていたが、合計15兆円とし、フレキシブルな対応が可能となった。
- ✓ 新型コロナ対応金融支援特別支援オペについても期限延長され、プロパー融資にかかる金融機関1先あたりの上限が撤廃された。

### 【新型コロナ対応金融支援特別オペの概要 期限2021年9月末】

オペ	内容
対象	1) 家計債務を含めた民間債務担保 2) 貸出残高 ① 制度融資 ・緊急経済対策における無利子・無担保融資 ・新型コロナ対応信用保証協会融資 ② ①に準じるプロパー融資 <del>-(金融機関1先1000億円)-</del>
対象先	系統会員を含めた金融機関等
期間	1年以内
適用金利	0% 利用残高に相当する当座預金に0.1%付利

- ✓ フォワードガイダンスについては新型コロナウイルスの影響と紐づけた従前の文言から変更はなし。
- ✓ 景気判断については、「内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直している」と判断を維持した。海外経済についても「持ち直している」との判断を維持も「一部で感染症の再拡大の影響がみられる」と注記した。
- ✓ また、「経済を支え、2%の『物価安定の目標』を実現する観点から、**より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検**を行う」とし、「来年3月の金融政策決定会合を目的にその結果を公表」としている。3月会合では現在の緩和策がさらなる長期化に備えて、持続可能な政策とするための何らかの政策調整を行うことが想定される。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。